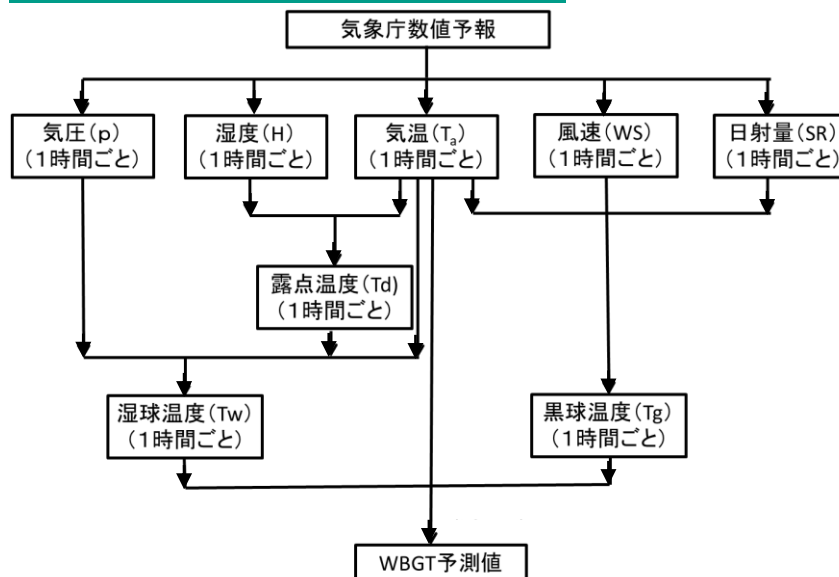


- 現行の熱中症警戒アラートは、地域気象観測システム（アメダス：Automated Meteorological Data Acquisition System）の地域気象観測所うち、その約840か所において、気象庁の数値予報データをもとに気温、湿度、風速、日射量等を基に算出される乾球温度、湿球温度、黒球温度から計算される暑さ指数の「予測値」をもとに発表。
- 改正気候変動適応法に基づく熱中症警戒情報は、現行の熱中症警戒アラートに係る予測値（暑さ指数）の算出方法を継承。

予測値の算出方法



※当該算出方法については、専門家からなる「令和2年度第1回 熱中症予防対策に資する効果的な情報発信に関する検討会」（令和2年4月）において了承がなされたもの

暑さ指数 (WBGT) について

暑さ指数 (WBGT) とは (WBGT : Wet-Bulb Globe Temperature)

- ◆ 人体と外気との熱のやりとり (熱収支) に着目し、
気温、湿度、日射・輻射、風 の要素をもとに算出する指標



暑さ指数 (WBGT) 測定装置

暑さ指数 (WBGT) の算出

【算出式】 $WBGT = 0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{乾球温度}$

- **乾球温度** : 通常の温度計が示す温度。いわゆる気温のこと。
- **湿球温度** : 湿度が低い程水分の蒸発により気化熱が大きくなることを利用した、空気の湿り具合を示す温度。湿球温度は湿度が高い時に乾球温度に近づき、湿度が低い時に低くなる。
- **黒球温度** : 黒色に塗装した中空の銅球で計測した温度。日射や高温化した路面からの輻射熱の強さ等により、黒球温度は高くなる。